





百鬼抄
継任



20040628
20040617-01
20040622
20040617-02
20030512
20040624



紫苑は夜刀の神が依り憑いた異形の者共専門のイン
キュバスと前々回書いたが正しくはサキュバスだな。
すみません訂正します。ここでは立ち姿を集めて並べ
てみた。やはりイラストではなくキャラ設定に近いの
かな？ディテールがまちまちなのでそれも違うか？



音 飢 行

[illegible]

百鬼抄 追儼橋

行く入越ざすとそみ言立ちて入行く事煮き藤あり。翼飛 藤政のなよやかなるに鉄
鎧の準、虎聚の陸兵も長やかに列きて戦えるに、藤の半ばかりに大の編駈りたるが
いた。大、虎の正張を現し願めて驚ろし気なる音を挙げて延びてくる藤。





20040621-01

画集「HELLHOUND Ⅲ」の作業が進む中で、追加部材から幾つか抜粋して今回も御覧頂ける事に（シリーズ終了してから3回もすみません）。画集とは言うものの、並べると何となく物語っぽい感じもして今のところ「変種の絵本」みたいな感じかな（変種の絵本とは違うつもり）。発売時期が遅くなって誠に申し訳なく思っていますが、こうして時々経過報告させて頂ける様ですのでどうか御容赦を。サイズは「INTRON DEPOT」シリーズと同じで、基本56ページ又は64ページで順調に進行中です。

百

鬼伝
秘伝

秘伝



百鬼抄
秘伝
鬼蜘蛛之王





「百鬼抄」は、武術主体でシリアスな造りの「武伝」と、エロ主体で鬼神獄卒・狐狸妖怪の類が出て来る「秘伝」が設計されている短編複数話企画で、制作予定はまだ無い。3DCGでやりたいのだが、まだ時期が早い様なので待機中。キャラの名前は「紫苑（しおん／しおに）」（月並だが判り易くて良いでしょ）。当企画に合わせて火器を持たせたが、彼女は奥山を移動して暮らす異国人種の末裔（鬼）なのであまりヘビーなメンテや兵站を必要とする武器は使用したがない。1600年代にフントロックも輸入されていた様だがあまり絵面や年代設定に似合わないの「二連の火縄短筒」にした（ダブル火皿&引金だよ）。国友もヘンな銃がたくさんあって面白いのだが割愛。雨避けを付け忘れたが…無くてもいいかな。紫苑はいわゆる「くのいち」ではなく、忍び（すっば）が暗躍する以前…忍者集団がまだ無かった時代のはぐれ者である。革&金属鎧は本来「欧州由来の拘束具または拘器」なのだが、彼女はそれと知らずサイズが合いフックが多く役立つので鎧だと思って重宝している。







百鬼抄

2002.11.19

史記

2002.11.19



紫苑 埴 埴

2003/05 15 2/10

紫苑によって精魂底抜かれた依代は、大抵の場合成仏して人間世界に福を成す。田泥の坊主共は泥田に冥り、やがて豊饒な土地になるだろう。数十はいたとおぼしき泥田坊主共をかわるがわる残らず抜き抜いて、さすがの乙女鬼も一休みの図。といっても紫苑の肉体は衰れず穢れず快楽に慣れない神器なので、人間のくたびれとは趣が異なる。追儺の後、幼めで美しい素股には封神の符が貼られ、一仕事が終わわり、また紫苑の旅は続く。





2004.10.26-02

龍 飛 つ る じ

龍飛は以前3Dで作ったもの。今回もあまり上手く風になびかなかったのだが静止画だからまあいいか。当初、雷獣の反り身具合が趣向の空中交換図だったのでジオラマ感が薄いが良しとして下さいね。激しい雨の中、泥まみれで〜という選択肢もあったか〜最近日本の雨も亜熱帯風なので皆様も天候災害には御用心を。



Illustration of a scene from a Japanese story, featuring a large, dark, stylized figure (possibly a demon or deity) and a group of smaller figures (possibly children or spirits) gathered around a large, round, decorated object (possibly a drum or a mirror).







玄武

20030728-02

夜刀の神が依り憑いた精霊類は人間界に災いをもたらすのみならず、他の精霊といさかう場合がある。河小僧共に憑いた夜刀の神は、淵の水神夫婦にまとわりついて玄武に成ろうとしていた。紫苑の業によって水神は平穏な暮らしを取り戻し、ひいては下流の人間共にも良い結果となる。とはいえ、人間世界の者には夜刀の神だけでなく夜刀追い期間中の紫苑や水神の姿は見え、袖が擦れ合う事も無い。

水鏡

20020602



士郎
正宗

船底に溜った水を「滄（あか）、ふなゆ」などと言うが、この滄を注ぎ足して船を沈めるのが船幽霊、逆に吸い出して船を救うのが滄舐めである（普通は風呂などの人垢を〜と言うが）。また、船／船滄は女性器の隠語でもある。ある種の一雌多雄交尾を行う生物は他雄の精子を目的の雌から掻き出した後に交尾する（以下繰り返し）性質がある。サイズから考えて海洋性の鬼らしいが、繁殖期で遡上したのだろうか？作中で村衆はこの軟体生物を「やまたおろち（沢山分岐した大きな蛇の意）」と呼んでいる。只の無痕跡絶滅種なら船を沈めるだけだが、「百鬼抄・秘伝」では人間とも交尾するという鬼神性がある（単に群れにおいて優位性の低い個体なのか、変態性なのかも。知り合いの半魚人に聞いたがアニメフィギュア好きらしいし。あ、映画でも大抵半魚人は人間の美女好きだな）。或いは小舟の陰影&その中に有る人間の性器がこの生物の雌と類似性があるのかもしれない。小舟の陰影が雌の性器に見えるという事は、あまり考えたく無いサイズの雌が川の上流にでもいるのかな？

将飛
醉







20020605

役（みづち・みずち）は水の霊と云われた絶世生物で、故に
で字のことし、のたつちを交る異名である。諸士渡米の、曲の
舞いヤツメウナギの近種で、水辺に来た大型生物に群がり陸内
で産卵したり水辺部に吸い付いて体を乾かす性質が有る（ヤツメ
ウナギ同様）。今昔物語に「さへう」に嫁く女一丁の「北」
もその類のものである（「さへう」は「さへう」が人間と交尾した
りするものか、「さへう」に「さへう」がレイプ後対策の医
薬と見られるのが普通かな）。
時の高貴な連中が異名で用いた「さへう」が山奥で養殖
中の所、沐浴などしてさへうと云う異名で来た紫苑が接
触、養殖場の番人を倒した。思わぬ事に「さへう」の追い込み
をかけてあったと、さへうになる。さへう利用生物を制御する
方に分岐する編で、さへうで近似の物質、平たく言うとイン
ド大麻みたいなものとしておこつた。作用もあり、「限りを
なくしとどめ終る色になる」が、日隠れ近く、川沿いの関所炭
焼き小屋まで通って通り着き、塩壺を使って難（？）を逃れる。
火器特に火縄銃はこの様な局面において棍棒以外の使用方法
が無い。雨や山岳部が多く多湿な日本において火縄銃の運用は
かなり難しかったであろう。油紙やスリングベルト代わりの太
帯はややこしいので描かなかった。かるか（込め矢／棒）に粉
失防止用の紐を付けるべき？ 何？このデの絵でそんな事はどう
でもいいって？

百鬼抄

盟約に因りて馳せ奉じたる鬼獄卒共、
紫苑の助け請う事無きをいかにせん
と、幾度も潮噴散し盛りぬたうる女態
をただ車座に囲み眺むるの図。中なる
顔目と思しき鬼神、炭焼きの小屋を示
し、をんなのあえぎさめたるを待つ。



20020601



正士宗郎

20020531

20021111
比売那素寐
外百



天帝の娘（固有名称は無い。天界で機織りに没頭していた頃は織姫又は棚機姫、夜刀の神に憑かれて交接事（トツギコト）、比売那素寐（ヒメナスビ、ヒメナソビ）に明け暮れた後は輝夜姫、赫射姫と呼ばれる）に、時霞む宵宮（ヨミヤ）で玩弄されまくる紫苑の図。魂（ウブ）が泉門（ヨミド）をくぐらない為、天帝が「牛鬼を率いる者（紫苑の事ね）」から姫を引き剥がすまで夜刀の神を追儼できなかった唯一の他力処理事案。



今回は「画集『HELL HOUND 01』」の為に追加される絵から幾つか抜粋してまとめた。これはセメナス
 への追加カットを並べ替えたもの。あまりエロエロやりすぎると画集という形態から逃脱するのでもここ
 に抑えてあるが、それなりにポリュムのある区画も作っていた。ゆるり具合の描写などが見所だろうか。

2502002

20020205 甲一課分下
20020128 甲一課分下
20020125 甲一課分下

